

登録コード	BSB81563	開講年度	2026				
授業題目	生命工学演習（22BS以降）					担当教員	鏡味 裕
英文授業名	Seminar in Biotechnology					副担当	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	1年次生
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2026BSカリ，2025BSカリ，2024BSカリ，2023BSカリ						
	【専攻】健康・福祉・医療・創薬分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観					発生工学に関する学術成果のプレゼンテーション方法を理解する。	
(2)授業の概要	発生工学に関し週1度、専攻学生が自ら選択した論文を紹介し、その内容や意義について討議する。また定期的に各自の研究成果をまとめて発表する。これらを研究の進展に役立てる。						
(3)授業計画	1. 演習の概要説明 2. 先端研究領域の学術情報検索法 3. 学術論文紹介討議1 4. 学術論文紹介討議2 5. 学術論文紹介討議3 6. 学術論文紹介討議4 7. 学術論文紹介討議5 8. 学術論文紹介討議6 9. 学術論文紹介討議1 10. 学術論文紹介討議2 11. 学術論文紹介討議3 12. 学術論文紹介討議4 13. 学術論文紹介討議5 14. 学術論文紹介討議6 15. 学術論文紹介討議7 16. 総括						
(4)成績評価の方法	自ら研究論文を選択し、活発に討議する。論文に対する理解度や討議能力を総合的に評価する。						
(5)成績評価の基準	下記基準で評価を行う。 秀S:幹細胞工学の研究に関し達成目標の水準から見て卓越している 優A:幹細胞工学の研究に関し達成目標の水準よりかなり上にある 良B:幹細胞工学の研究に関し達成目標の水準よりやや上にある 可C:幹細胞工学の研究に関し達成目標の水準にある 不可D:幹細胞工学の研究に関し達成目標の水準よりやや下にある、またはかなり下にある						
(6)事前事後学習の内容	発表資料（学術論文等）を事前に精読する。また授業後には討議を踏まえ関連論文等の精読によって理解を深める。						
(7)履修上の注意	十分に時間をかけ予習復習する。						
(8)質問,相談への対応	随時対応 メール：kagami@shinshu-u.c.jp						
(9)その他							
【教科書】	必要に応じて、資料や論文、等を紹介する。						
【参考書】	Nature (2026) Science (2026) Development (2026) Cell Stem Cell (2026)						